川崎信用金庫理事長賞

夢への一歩

東高津小学校　５年生　江口　創大

　ぼくは、三年生から友達にさそわれて二子フェニックスで野球をやっています。ぼくの夢は、リーグ戦やトーナメントでレギュラーになって優勝することです。

　ぼくの守備位置はセカンドです。けど、スタメンはぼくではありません。だから、あまり試合にでることはありません。いつも試合にでたくて、習い事の間にお父さんと多摩川で練習をしたりしています。この間、リーグ戦がありました。スタメンにはなれなかったけど、

（コーチャーでがんばろう！）

と思いました。そして試合が始まりました。自分のチームはだんだん点数をかさねていきました。しかし、相手チームに点が入ってふんいきがわるくなってしまいました。そこでぼくは、

「声だしていこー！」

「ここからまた点をとってこー！」

など声をだしました。ですが点数をたくさんいれられてしまいました。９－７で始まった、さいしゅう回。ぼくは守備こうたいでセカンドに入りました。ピッチャーはキャプテン。ぼくは、

「これまでの練習のことをいかして、しゅうちゅうしてがんばろう。」

と思いました。そして、ランナーまんるい。キャプテンが最後に三しんを取って９－７でゲームセット。９－７ですごくおいつかれそうだったけど勝てて、とてもうれしかったです。第二回戦は、トーナメントでも準優勝とすごく強いチームです。そして、ぼくのチームは二ベースヒットを二かいも打つも、一点もとれずこの試合は負けてしまいました。

　この試合を通して、打線がつながらなく点を取れず、守備でもエラーをしてしまったので、ぼくは、ふんいきがわるくなっちゃったのだと思いました。それで、とてもくやしかったです。なので、これからぼくは、コーチャーでもみんなをはげます声をだしたり、たくさんお父さんと多摩川で練習をしたりして夢のように、スタメンになって活やくしたいです。